

同じ符号の2つの数の除法

同じ符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 正の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・2つの正の数の除法

$$(+6) \div (+3) = + (6 \div 3) = +2$$

↑ 2つの数の商になる
↓ 正の符号になる

・2つの負の数の除法

$$(-6) \div (-3) = + (6 \div 3) = +2$$

↑ 2つの数の商になる
↓ 正の符号になる

異なる符号の2つの数の除法

異なる符号の除法は、下のように計算する。

- ・符号: 負の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・異なる符号の2つの数の除法

$$(+6) \div (-3) = - (6 \div 3) = -2$$

↑ 2つの数の商になる
↓ 負の符号になる

$$(-6) \div (+3) = - (6 \div 3) = -2$$

↑ 2つの数の商になる
↓ 負の符号になる

1 次の計算をしなさい。

① $(+8) \div (+2)$

② $(-6) \div (-3)$

③ $(+4) \div (-2)$

④ $(-5) \div (+1)$

同じ符号の2つの数の除法

同じ符号の除法は、下のよう計算する。

- ・符号: 正の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・2つの正の数の除法

$$(+6) \div (+3) = + (6 \div 3) = +2$$

2つの数の商になる

正の符号になる

・2つの負の数の除法

$$(-6) \div (-3) = + (6 \div 3) = +2$$

2つの数の商になる

正の符号になる

異なる符号の2つの数の除法

異なる符号の除法は、下のよう計算する。

- ・符号: 負の符号になる。
- ・絶対値: 2つの数の商になる。

・異なる符号の2つの数の除法

$$(+6) \div (-3) = - (6 \div 3) = -2$$

2つの数の商になる

負の符号になる

$$(-6) \div (+3) = - (6 \div 3) = -2$$

2つの数の商になる

負の符号になる

1 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned} \text{① } & (+8) \div (+2) \\ & = + (8 \div 2) \\ & = +4 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{② } & (-6) \div (-3) \\ & = + (6 \div 3) \\ & = +2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{③ } & (+4) \div (-2) \\ & = - (4 \div 2) \\ & = -2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{④ } & (-5) \div (+1) \\ & = - (5 \div 1) \\ & = -5 \end{aligned}$$